

がん診療最前線

がんの診断・治療のニューノーマル

がんを巡る医療は進化し続けています。福井における最新情報をお伝えする、北信がんプロ県民公開シンポジウムが2022年11月6日、「がんの診断・治療のニューノーマル」をテーマに、福井大学文京キャンパスで開かれました。本年度で16回目となりました。会場を訪れたがん患者や家族ら約50人のほか、インターネットでの同時配信で約140人が視聴。福井大学医学部附属病院の専門医が最新の診断・治療実績などを紹介しました。

※「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」は、北陸3県、長野県の6大学が連携し、がん専門医療者の育成を図るプロジェクトです。



共催：福井新聞社
後援：福井県、福井県医師会、福井県薬剤師会、福井県看護協会
福井県病院薬剤師会、福井県がん診療連携協議会
お問い合わせ：福井大学医学部腫瘍病態治療学分野
〒910-1193 永平寺町松岡下合月23-3
Tel.0776-61-8857 Fax.0776-61-8656
gpro-fukui@ml.u-fukui.ac.jp



がんプロ福井大学

A portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit and a yellow patterned tie. He is holding a silver microphone in his right hand and looking slightly to the left of the camera with a neutral expression.

PET（ポジトロン断層撮影法）は弱い放射線を出すポジトロン製剤を体内に投与しPETカメラで撮影する検査です。現在の保険診療ではFDG（フルオロデオキシグルコース）と呼ばれるブドウ糖の類似物を投与し、がんの病期診断（全身への広がりを調べる）等に用います。MRI（磁気共鳴画像）は大きな磁石による強い磁場とFMラジオに使われるような電波を使った画像検査です。CTと比べてコントラストが明瞭で、がんの性状や局所浸潤の評価に有用です。

本学は2015年、PETとMRIを融合した最新の統合型PET-MRI装置を導入しました。FDG PET-MRI検査の手順は、MRI非対応の体内金属等のチェック以外は一般的なPET-CTとほぼ同じです。耳鼻科領域では、義歯の影響でPET-CTでは評価できなかつた舌がんを明瞭に捉えることができます。婦人科や消化器外科領域では、子宮頸がんや直腸がんの位置や性状に加えリンパ節転移や遠隔転移の有無を一度に評価できます。MRIのガドリニウム造影剤を使わないため、造影剤アレルギーのある方にも問題なく検査できます。

現在、統合型PET-MRI装置は国内に10台ほどありますが、本学のようにFDG以外のPET薬剤を用いたPET-MRI検査（臨床研究）が可能な施設は世界でも数少ないです。今回ご紹介した乳がんのエストロゲン受容体P-ERTは、FDG PETで検出できない転移巣を正確に診断することができます。福井大学病院のニューノーマル、PET-MRIを患者の皆さんにご利用いただきたいと思います。

PET/MRI検査

PET/MRI検査

井大学医学部附属病院
教授 辻川 哲也 先生 放射線科

P E T（ポジトロン断層撮影法）は弱い放射線を出すポジトロン製剤を体内に投与しP E Tカメラで撮影する検査です。現在の保険診療ではF D G（フルオロデオキシグルコース）と呼ばれるブドウ糖の類似物を投与し、がんの病期診断（全身への広がりを調べる）等に用います。M R I（磁気共鳴画像）は大きな磁石による強い磁場とF Mラジオに使われるような電波を使った画像検査です。C Tと比べてコントラストが明瞭で、がんの性状や局所浸潤の評価に有用です。

本学は2015年、P E TとM R Iを融合した最新の統合型P E T・M R I装置を導入しました。F D G P E T・M R I検査の手順は、M R I非対応の体内金属等のチェック以外は一般的なP E T・C Tとほぼ同じです。耳鼻科領域では、義歯の影響でP E T・C Tでは評価できなかつた舌がんを明瞭に捉えることが

紹介するために、テーマを「がんの診断・治療のニューノール」としました。当院が誇る診断や治療を紹介します。

本シンポジウムの動画は、福井大学北信がんプロの

ホームページから視聴可能ですので、ぜひご覧ください。



司会進行・開会挨拶

がん診療最前線

今や2人に1人ががんになる時代で、誰もが気を付けるべき問題となっています。がん患者さんの声から2006年に定められたがん対策基本法に基

A photograph of a man with grey hair and glasses, wearing a dark suit and tie, speaking into a microphone. He appears to be giving a speech or presentation. The background is a yellow wall with a grid pattern.

がんは不治の病と考えられてきましたが、最近では罹患しても治ると期待できる時代になつてきています。の中でも比較的5年生存率が高いのが乳がんです。

欧米では、がんの撲滅に向けて「がんゲノム医療」が始まり、患者さん個々の発症原因となる遺伝子変異に応じた治療が進んでいます。日本では乳がんに罹患する女性が増えており、欧米と同様の方法で治す流れにあります。

当院では、学会のガイドラインに基づき2003年以降、再発予防の取り組みに力を入れてきました。例えば、進行したがんには抗がん剤で小さくしてから無理のない手術に臨みます。それにより、皮膚にもがんが残らずきれいに取り除くことができますし、乳房切除後の胸部の放射線治療により、手術した胸の再発がほとんどなくなりました。そのような結果、5年生存率はそれまでの82%から93%に向上了ました。特にステージ3は62%から85%へ大きく上昇しました。

再発リスクの高い患者さん向けに新しい治療薬も複数出てきており、再発予防がさらに進んでいきます。ただ、ステージ3以降の治療は難しく、できれば0～2での発見が望まれます。40歳になつたら、マンモグラフィ（X線撮影による画像診断）併用の検診などをぜひ、受けていただきたいと思います。さらに曰ごろから、乳房のしこり、乳房の皮膚のくぼみや引きつけ、乳頭からの分泌物、乳頭や乳輪のびらんなどの変化に気を付けて、気付いたらすぐに医師に相談してください。

福井大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科
診療教授 前田 浩幸 先生

卵巣がんを少しでも早く見つけるために、その症状、すなわち下腹部のはりや痛み、頻尿などが続くようであれば産婦人科を受診してください。また良性の卵巣腫瘍でもがんに変わるものがあるため産婦人科主治医とよく相談してください。遺伝性の卵巣がんもあるため、ご自身や身内の方で乳がん・卵巣がん・すい臓がん・前立腺がんの方がいらっしゃれば主治医に相談してください。

卵巣がんは、年間1万人以上の方が診断され、5千人近い方が亡くなっています。症状のないままがんが増大し、おなか全体に広がつて初めて症状が出るため、早期発見が難しいとされています。早期発見につながる有効な健診方法も現時点では残念ながら存在しません。

卵巣がんは手術前に組織の生検ができないため、手術を行つて初めて確定診断されます。初期で発見できれば、開腹による根治手術を行います。すでにおなか全体に広がつて状態では、元々大きくなる

卵巣がん

卵巣がん、早期発見のために 知つておいてほしいこと

がんが進行して転移するのは、前立腺からは85%が骨だという特徴があります。ホルモン療法がよく効きますが、いずれ細胞が抵抗性を獲得し効果がなくなります。

世界では新たな治療薬が開発されていて、遺伝子診断に基づき薬を選択する時代も来ています。

センターがあり連携しています。

であり、周囲の臓器に極力当てない方法も進化しています。新しい治療では粒子線が有効で、福井では県立病院に専門の



前立腺がん 進化を続ける前立腺がんの 診断・治療

A portrait of a man with dark hair, wearing a blue suit and tie, speaking into a silver microphone. He is looking slightly to his left.

胆道がん 診断・治療の最新情 況 難治性がん克服に見えてきた半

がんに対するQ & A